

がん患者さんへ 就職支援のご案内

～病気療養中でも働きたい方へ～

専門窓口を通じて年間4,000人※が就職されています

※令和3年度全国実績

- ◆通院の必要はあるが、働きたい。
- ◆自分の病状、体力にあった仕事を見つけない。
- ◆治療と仕事の両立の仕方について教えてほしい。
- ◆しばらくぶりに仕事に戻ることに不安を解消したい。
- ◆就職活動で、企業に病気のことを伝えるべきか迷っている。
- ◆仕事復帰に際して、どんなスキルが必要か知りたい。



こんな悩み・不安をハローワーク大分がご相談に応じます

ハローワーク大分では、専門の就職支援担当者「就職支援ナビゲーター」を配置。マンツーマンであなたの就職を支援します。能力や適性、病状、治療状況などを考慮して、仕事をご紹介します。 **※事前予約制**

対 象 : 大分県内の就職を希望するがん患者さん

出張相談の場所及び日時

大分大学医学部附属病院
がん相談支援センター

- 毎月第2・4水曜日
- 13:00～16:00

大分県立病院
がん相談支援センター

- 毎月第1・3・5水曜日
- 13:00～16:00

大分赤十字病院
がん相談支援センター

- 毎月第2火曜日
- 13:00～16:00

予約受付・お問い合わせ先（平日8:30～17:00）

大分大学医学部附属病院
がん相談支援センター受付
電話：097-586-6376

大分県立病院
がん相談支援センター受付
電話：097-546-7062

大分赤十字病院
がん相談支援センター受付
電話：097-532-6181
(内線319)

ハローワーク大分の窓口でもご相談に応じます 電話：097-538-8609

「病気療養者専門窓口」とは？

- ・ **全国133か所のハローワーク**（令和4年10月時点）**に設置**
- ・ **専門窓口で就職した方は約4,000人**（令和3年度全国実績）
- ・ **「ちょっと相談だけでも・・・」は約9,500件**

まずは、お気軽にご連絡ください！

■ ハローワーク大分相談窓口 TEL：097-538-8609



支援事例1 精神的な負担や不安を解消し、強みを活かして就職を実現

- ① 本人が面接で直接症状を話し断られるケースが続いていたため、病状等を説明することが精神的な負担となっていた。
- ② ハローワークが本人と話す中で職歴や保有資格を整理し、即戦力であるということを強みとしてアピールすることを提案。
- ③ 相談の中で求人を選び、ハローワークから事業所に応募者の強みや配慮してほしいことを伝え、応募の可否を聞き取る。さらに事業所へ職場見学を申し入れ、体力的に続けられるかを本人が判断した。
- ④ 不採用や採用辞退（体力的な問題）を何度か重ねながらも、強みを活かせる業種に就職。

支援事例2 在職中に次ステージを考え、早めに行動し成功

- ① 在職中に手術を受け、体調が心配なため、転職希望で来所。
- ② 相談の中で、親戚に障害者があり積極的に世話をしていることを聞き、職業訓練で介護職員初任者研修を受けた後、障害者支援の職業に就くことを提案。退職のメドがたってから連絡を受けることとした。
- ③ 数か月後、雇用保険の受給手続きを行い、職業訓練を開始。6か月の訓練期間の中で職業相談も行い、積極的に就職活動。
- ④ 訓練終了の時点で正社員の介護職で採用が決定。

「長期療養者就職支援事業」について

厚生労働省では、がん、肝炎、糖尿病などの疾病によって長期にわたる治療を受けながら就職を希望される方（長期療養者）への就職支援を行っています。

※在職中の方でも、就労の継続や退職にかかる相談など、ハローワークの助言・支援を希望する場合には対象となります。

長期療養者就職支援事業ホームページでは、支援内容や就職事例、ご利用いただける社会保障の紹介など、より詳しい情報を掲載しています。ぜひご覧ください。

■ 長期療養者就職支援事業ホームページ

